

中間評価に対する意見

滋賀県公共事業評価監視委員会

番号	1	計画名	滋賀県における土砂災害対策の推進（防災・安全）	事業主体	滋賀県
				施行箇所	大津市 他
(意見)					
○事業の進捗状況について 土砂災害危険箇所 4,910 箇所のうち要対策箇所 2,532 箇所に対して、対策済み箇所が 554 箇所から 565 箇所へ増加し、11 箇所について対象施設が概成したことを確認した。					
○事業効果の発現状況について 若葉台 3 地区急傾斜地崩壊対策事業の完了に伴い、人家や市道に対して事業効果が期待できることを確認した。					
○評価指標の目標値の実現状況 中間評価時点における進捗状況については、「①土砂災害のおそれがある箇所において、対象施設が概成した箇所数」は、565 箇所であり、中間目標値 556 箇所を超えていること、「②土砂災害対策の実施により保全される人家戸数」は、11,237 戸であり、中間目標値 11,034 戸を超えていることを確認した。					
○事後評価を行うための主要な事業の選定について 選定要件を満たす事業の箇所がないことを確認した。					

中間評価に対する意見

滋賀県公共事業評価監視委員会

番号	2	計画名	滋賀県における土砂災害対策の推進（防災・安全）（重点）	事業主体	滋賀県
				施行箇所	大津市 他
(意見)					
○事業の進捗状況について 土砂災害危険箇所 4,910 箇所のうち要対策箇所 2,532 箇所に対して、対策済み箇所が 554 箇所から 557 箇所へ増加し、3 箇所について対象施設が概成したことを確認した。					
○事業効果の発現状況について 藤尾川補助通常砂防事業の完了に伴い、人家や市道に対して事業効果が期待できることを確認した。					
○評価指標の目標値の実現状況 中間評価時点における進捗状況については、「①土砂災害のおそれがある箇所において、対象施設が概成した箇所数」は、557 箇所であり、中間目標値 557 箇所を達成していること、「②土砂災害対策の実施により保全される人家戸数」は、11,092 戸であり、中間目標値 11,092 戸を達成していること、「③土砂災害対策の実施により、保全される避難所」は、111 箇所であり、中間目標値 111 箇所を達成していることを確認した。					
○事後評価を行うための主要な事業の選定について 選定要件を満たす事業として、丹生川補助通常砂防事業を選定した。					